

# 柴田熔接工作所

23日に発足式

【福岡】フレーケアのパドヴァに本社を置く国際企業。イタリア製造と工事を手掛けるアをはじめ米国、中国、柴田熔接工作所(福岡市、柴田勝紀社長)は、世界各國に営業所イタリアのCAREL社(キャレル社)と今年1月に合弁会社「CAREL Japan」を同市南区塩原に設立、4月から実質稼働が始まった。今月上旬

を構える。キャレル社は冷熱装置向けの制御弁やプログラムコントローラー、ユーザードキュメント等の新規開発を行っており、リモート監視システム、通信デバ



柴田勝紀社長

をはじめ米国、中国、柴田熔接工作所(福岡市、柴田勝紀社長)は、世界各國に営業所

イタリアのCAREL社(キャレル社)と今年1月に合弁会社「CAREL Japan」を同市南区塩原に設立、4月から実質稼働が始まった。今月上旬

を構える。キャレル社は冷熱装置向けの制御弁やプログラムコントローラー、ユーザードキュメント等の新規開発を行っており、リモート監視システム、通信デバ

イスなどを製造販売。までキャレル社の製品の大半を大手冷凍機械メーカー向けにOEM供給しており、その技術は食品工場やスケルト工場などの省エネに貢献している。新会社のCAREL Japanは、キャレル社製品の日本販売と製品開発を行う。資金1,000万円で柴田熔接工作所が51%、キャレル社が49%を出資して設立。柴田社長が代表取締役を務め、キャレル社からマルティノ・マンフリン氏が取締役に就いた。今

ていたため、日本国内での知名度は低いが、

南米ではメジャーだ。今後、新会社が日本国内へ向けての貢献をしていく。

新会社のCAREL Japanは、キャ

柴田社長は「キャレル社の製品は水産加工場や漁協の冷凍冷蔵設備にも利用され、10%

いく。

以上の省エネが可能になりました」と話す。水産現場などへの省エネ提案で納品を目指し、社員である「お客様との財産づくり」を実践していく。

## 伊キャレル社と新会社 省エネの冷熱装置を供給